



日頃の備えが重要です!!

災害への備えはできていますか?

日頃から備える

「日常備蓄」は、特別な準備を必要とするものではありません。日頃から自宅で利用しているものを少し多めに備えることで、発災時にも自宅で当面生活することが可能になります。



東京備蓄ナビ

必要な備蓄品・数量は、家族構成や住居により異なります。東京備蓄ナビ (右のQRコードからアクセス可) で、自分に合った備蓄を調べてみましょう。



災害時の断水に備える

大規模な地震が発生した場合、市内で約半数の水道が断水すると想定されています。断水時は災害時給水ステーション (給水拠点) を開設し水を配布しますので、事前に防災マップで場所を確認しておきましょう。給水時の持ち物/水を入れる容器 (ポリタンク・ペットボトルなど) 防災マップは市HP (右のQRコードからアクセス可) 参照



停電にも備えましょう

3月16日に発生した地震で、市内の一部地域でも停電が発生しました。もしもの停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオ、モバイルバッテリーなどをすぐに取り出せる場所に用意し、普段から家族で場所を確認しましょう。

災害時の情報収集方法の確認を

災害時は市HPのほか、下記でも緊急情報などを配信しますので、ご活用ください。

◇調布市防災・安全情報メール

市からの緊急情報や地震情報 (震度3以上)、気象情報 (特別警報、警報、注意報)、災害情報などを配信します。

登録方法/Eメールアドレス (c-bousai@sg-m.jp。右のQRコードからアクセス可) に空メールを送信し、自動返信されるメールに従って登録



◇防災フリーダイヤル (☎0800-8000-903)

防災行政無線で放送した防災・災害などの緊急情報を放送後24時間確認できます。

◇市公式ツイッター

アカウント/chofu_shi (右のQRコードからアクセス可)



◇調布エフエム放送

ラジオ/FM83.8MHz

パソコン/[ListenRadio] または「サイマルラジオ」

スマートフォン/無料アプリ「ListenRadio」をインストール



◇ケーブルテレビ

J:COM (地デジ11ch)

災害時には、J:COMの番組画面に災害情報が表示されます。



調布市消防団への感謝・応援宣言

調布市消防団は、それぞれ自分の仕事などを持ちながら、火災・災害などの発生時に現場に出動し消防・防災・警戒活動を行うなど、調布市民の生命と財産を守るために献身的な活動をしています。

市は、消防団員や日頃の活動を支えているご家族に感謝し、活動を応援するため、4月1日に宣言を行いました。

☎宣言の全文は市HP参照



左から長友市長、小林議長、中原調布消防署長

令和4年度 調布市消防団役員が決まりました

令和4年度役員は以下の通りです (敬称略)。

- 団長/小津浩彦 副団長/熊澤兼夫・倉田邦昭・小野 肇 第1分団長/野口敏幸
- 第2分団長/恩田直哉 第3分団長/須藤竜彦 第4分団長/太田聡則
- 第5分団長/小川直登 第6分団長/鮎川有祐 第7分団長/杉崎武志
- 第8分団長/進藤 仁 第9分団長/齊藤定之
- 第10分団長/田中和弥 第11分団長/榎園泰史
- 第12分団長/平子友幸 第13分団長/笠井大輔
- 第14分団長/鈴木康之 第15分団長/浅田哲哉



☎総合防災安全課 ☎481-7348

防災教育の日を実施

東日本大震災の教訓を風化させないため、市では毎年4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」とし、自助・共助の精神を育む防災教育や防災訓練などを実施しています。

なお、感染症対策のため、学校公開と保護者による引取訓練は行いません。

☎4月23日(出)

☎所市立小・中学校、大町スポーツ施設

☎対/内

☎児童・生徒/命の授業・防災啓発講話、避難訓練

☎市職員・地域住民など/令和元年台風第19号における避難所開設時の振り返り、感染症対策を踏まえた避難所開設訓練

☎他状況により開催方法などを変更する場合あり。詳細は市HP (下のQRコードからアクセス可) 参照

☎教育総務課

☎481-7465



避難訓練



避難所開設訓練 (受付訓練)

●災害時の情報収集は調布FM (83.8MHz) で

災害時、市内の詳細な被害状況、避難情報、生活情報などの確かな災害情報を提供します。調布FMを聞く方法/ラジオ: 83.8MHz(ハミングハート)、パソコン: [ListenRadio] または「サイマルラジオ」、スマートフォン: 無料アプリ [ListenRadio] ☎調布FM ☎483-0838 (広報課)